



## 外国出張報告書

平成 26 年 10 月 31 日

1. 出張国名       パラグアイ、ブルキナファソ
2. 出張月       平成 26 年 9～10 月
3. 出張目的
  - ・プロジェクト設計書策定のための植林、樹木ベースライン調査等の継続（パラグアイ）
  - ・村民による灌漑活動計画の策定と実施への支援（ブルキナファソ）：A

### 4. 成果の概要

（パラグアイ）

平成 26 年 9 月時点の植林面積等は 27 農家グループ、329 農家、469.5ha、367 区画である。今年度の苗木生産はこれまでに約 31 万本で順調に進捗しているが、農家の植林活動については降雨の影響を受け遅れている。

CDM プロジェクト設計書の策定のため、樹木ベースライン調査およびリーケージ調査を実施した。調査の結果、ベースライン純 GHG 吸収量は 6,651 tCO<sub>2</sub>-e、リーケージ排出量はゼロとなることが分かった。

（ブルキナファソ）

ゲスナ村住民の問題解決に貢献する活動計画（乾季における市場向け野菜栽培）を促進するため、ゲスナ村住民と複数回の会合を実施し活動方針を策定した。また、灌漑のための水源を特定し、太陽光発電灌漑施設整備に着手した。